

草原を守ることは、深く知ることによって育つ。



火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

どこにでも転がっている石ころかと

無造作に拾いポケットに入れて歩いていたら、

じつはそれが世界でも珍しい貴重なものだった。

畜産農家の市原啓吉さんは、阿蘇の自然をそんな比喻で語ります。

あまりにも身近であるため、

たとえばこの草原に棲む動植物が生物学的に

どんな価値をもっているかを見落としがちだと。

町古閑牧野組合長であり、小中学生への草原教師でもある。

「知ることによって、守るところが生まれます」

という信念で、生態系のふしぎを、

生命の貴さをていねいにわかりやすく教えている。

守ることの大切さをくりかえし説いているのは、

なによりも本人自身がこの草原を尊敬しているから。

町古閑牧野組合長

市原啓吉

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。